

はくがくニュース No.9

じんがうがく ほうりゆういんていえん

仁風閣・宝隆院庭園がリニューアルしました!

国の重要文化財・仁風閣の裏にある「宝隆院庭園」が大規模修理され、1863年(約160年前)に造られたときの姿がよみがえりました。石と松でできた江戸時代の庭園をぜひご覧ください。



上から見ると...



修理前

掘り直しや、大雨で土砂が流入したため、イノシシや犬の糞が流れていました。



修理後

江戸時代の古地図を参考に、庭木などを取り除きました。

仁風閣の裏にある「宝隆院庭園」は、江戸時代に宝隆院というお姫様のために造られた庭園です。
この庭園は池の周りを歩いてまわることができ、池の中には小さな鶴の島と大きな亀の島があります。
背景には久松山と鳥取城の石垣が見え、江戸時代の美しい景色を眺めることができます。

右の写真は宝隆院庭園の修理前と修理後のものです。ずいぶんきれいになってしまったと思いませんか?
(坂根達哉/仁風閣館長)

※ 池の周りをめぐりながら鑑賞する庭を池泉回遊式庭園といいます。

※ 鶴と亀は、長生きのシンボルです。

下から見ると...

修理前



修理後



輪郭がはっきりしました!

2022.6.10 発行
(公財)鳥取市文化財団
博学連携推進プロジェクト
鳥取市因幡万葉歴史館内
Tel. 0857-26-1780
E-mail: info-inabananyou@tbz.or.jp



あおや和紙工房20周年

「関連イベントがいろいろ」

あおや和紙工房は、今年8月7日、開館20周年を迎えます。

責負町全体の活性化につながる町の顔をめざし、地域の人たちの交流、和紙の研究開発、さらに観光拠点の役割などを目的とした複合施設として誕生しました。

その時から34万人以上の入館者を迎え、紙漉き体験や年間4回の企画展、地元生産者の方たちが作られたいろいろな和紙商品の販売を通じて、因州和紙の魅力を発信してきました。

最近では、修学旅行などで県内外の小・中・高生の来訪も増えています。

8月7日は、記念式典を行います。さまざまなイベントや記念品を用意していますので、ぜひ、あおや和紙工房へお越しください。

(林田千春/鳥取市あおや和紙工房代表)

「地元因州和紙を書く」 「書家と生産者の出会い」

地元生産者の書道の大家である柴山抱海さんを中心とした鳥取県東部書家の作品を展示しました。書家の方と和紙生産さんが直接出会える貴重な機会にもなりました。



今後は、オリジナル商品の開発に積極的に取り組み、より幅広く「和紙の里」の魅力を届けたいと考えています。

創作和紙工芸展

「書道のきらめき」

6月25日～8月28日

20年、共に歩んだ地元生産者の和紙芸術。クルム団体(なぎり絵、折り紙、立体なぎり絵、和紙の花)による様々な創作作品を展示します。



居森幸子

「紙耕展」

9月17日～11月13日

岡山県在住の居森幸子さんによる、ナイフや草木通しなど、和紙に精巧な模様を施した作品を展示します。

